

事業報告書

(課題解決特別事業)

申請団体名：とうがねまちづくり推進委員会

〔令和6年度採択分〕

令和7年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

協働の環境保全～唐鐘川を救うのは唐鐘人だ！～

事業費（予算額）： 989,240 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：989,240 円）

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- ・唐鐘川の劣悪な環境は唐鐘地区住民の生活環境における最上位課題の解決。
- ・住民自らが環境保全への対策を施すことにより町に対する協働意識の醸成。
- ・地域課題解決の方法を次世代へ伝え、模範となるために行う事業。

D

事業の概要

- ・唐鐘地区全住民を対象とした町民アンケート結果の生活環境における最も解決すべき課題であった唐鐘川の環境改善を最上位課題と捉え、住民主体の課題解決策を実施する。
- ・中国電力が開発し水質浄化作用が認められた部材「Hi ビーズ」の埋設を行う。
- ・地区住民で構成された有償ボランティア組織「環境保全係」を中心に有償ボランティアを募り作業を行う。
- ・唐鐘地区住民へも周知を図り多くの人員との共同作業を通じたつながりづくりの機会をつくり新たな形のまちづくりの手法とする。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

										○
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

- ・上記評価の理由
- ・2カ年計画の事業であったが、計画通りの面積に埋設できたこと。
- ・輸送コストを下げることで限られた財源で事業費を賄えたこと。
- ・フォーラムでの実践発表やケーブルテレビ等で取り上げてもらったことにより参加者した委員や一部の住民のまちづくりに対する意識が向上した。
- ・河口付近の住民からも課題となっていた悪臭が改善されたとの意見があること。
- ・今後、これ以上に動力を使った事業を行うことはできないと思うくらいの内容だったと思うので10という評価にした。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- ・情報発信、周知方法を強化するためInstagram等のSNSを活用した周知を行うきっかけになった事業だった。
- ・一過性の事業に終わることなく今後も課題と向き合っていけたらと思う。

